

認知症ってなあに？

-- 認知症の正しい理解と基礎知識 --

黒川医院

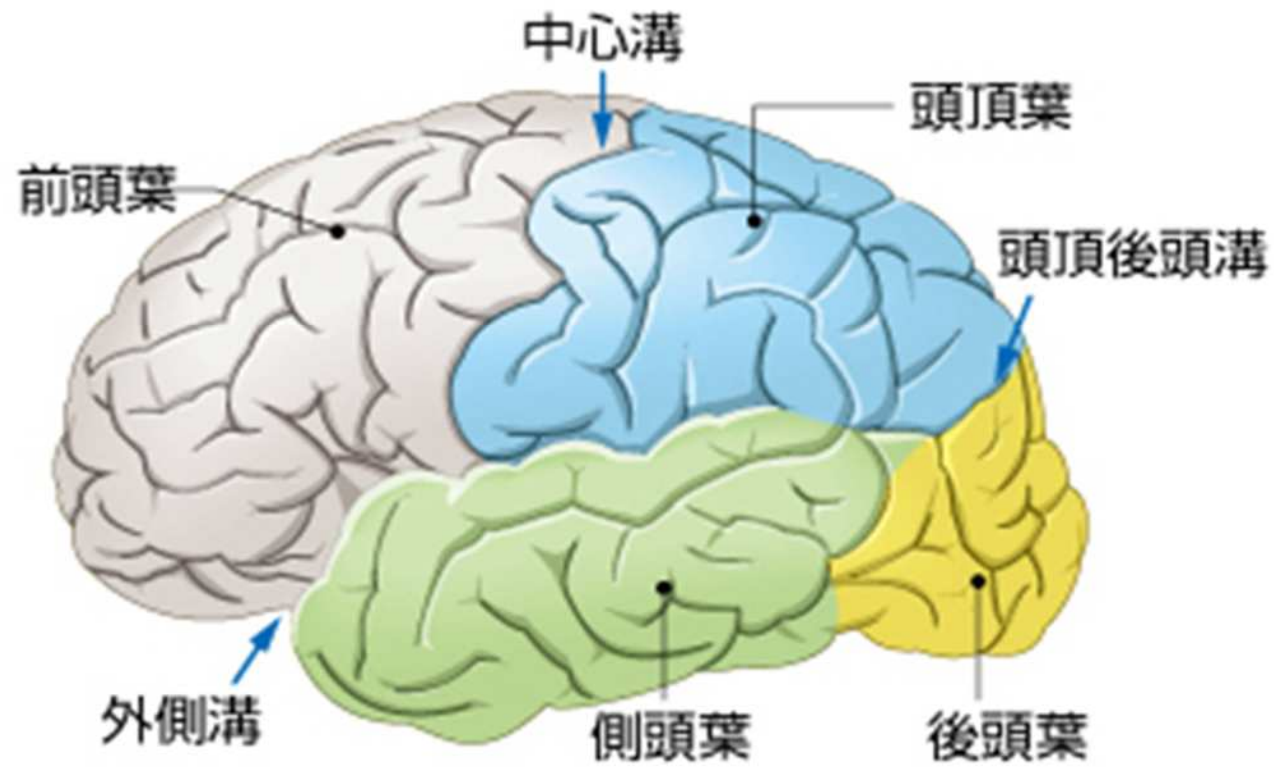
院長 黒川 豊



認知症を呈する疾患

- **脳血管障害** : 脳血管性認知症
- **変性疾患** : アルツハイマー型認知症、ピック病、レビー小体型認知症、皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺など
- **感染症** : 脳炎、進行麻痺、エイズ脳症、プリオン病など
- **腫瘍** : 脳腫瘍
- **その他**
 - 中枢神経疾患 : 神経ベーチェット、多発性硬化症など
- **外傷** : 慢性硬膜下血腫
- **髄液循環障害** : 正常圧水頭症
- **内分泌障害** : 甲状腺機能低下症
- **中毒、栄養障害** : アルコール中毒、ビタミンB₁₂欠乏など

大腦側面圖



認知症の種類

■ 前頭側頭葉型認知症

◆ 脳の前頭葉や側頭葉で、神経細胞が減少して脳が萎縮する病気です

【症状】

感情の抑制がきかなくなったり、社会のルールを守れなくなるといったことが起こります。

■ レビー小体型認知症

◆ 脳内にたまったレビー小体という特殊なたんぱく質により脳の神経細胞が破壊されおこる病気です。

【症状】

現実にはないものが見える幻視や、手足が震えたり筋肉が固くなるといった症状が現れます。歩幅が小刻みになり、転びやすくなります。

■ 脳血管性認知症

◆ 脳梗塞や脳出血によって脳細胞に十分な血液が送られずに、脳細胞が死んでしまう病気です。高血圧や糖尿病などの生活習慣病が主な原因です。

【症状】

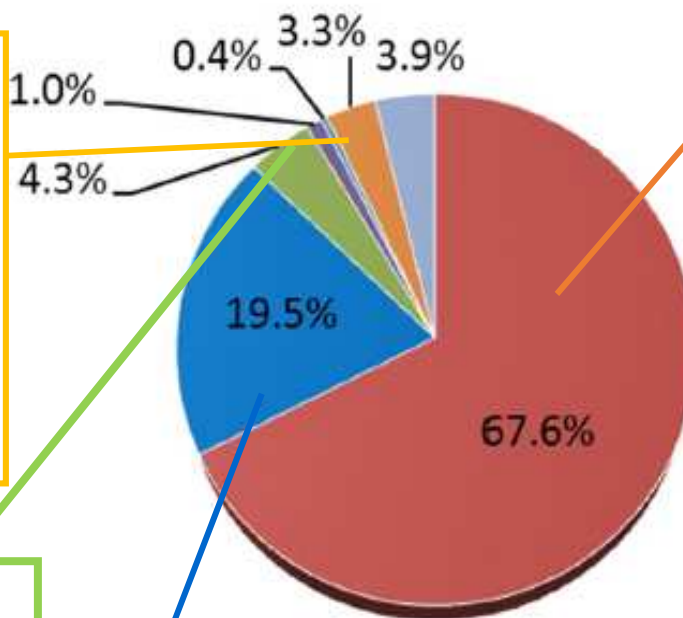
脳血管障害が起こるたびに段階的に進行します。また障害を受けた部位によって症状が異なります。

■ アルツハイマー型

◆ 脳内にたまった異常なたんぱく質により神経細胞が破壊され、脳に萎縮が起こります。

【症状】

昔のことはよく覚えていますが、最近のことは忘れてしまいます。軽度の物忘れから徐々に進行し、やがて時間や場所の感覚がなくなっていくます。

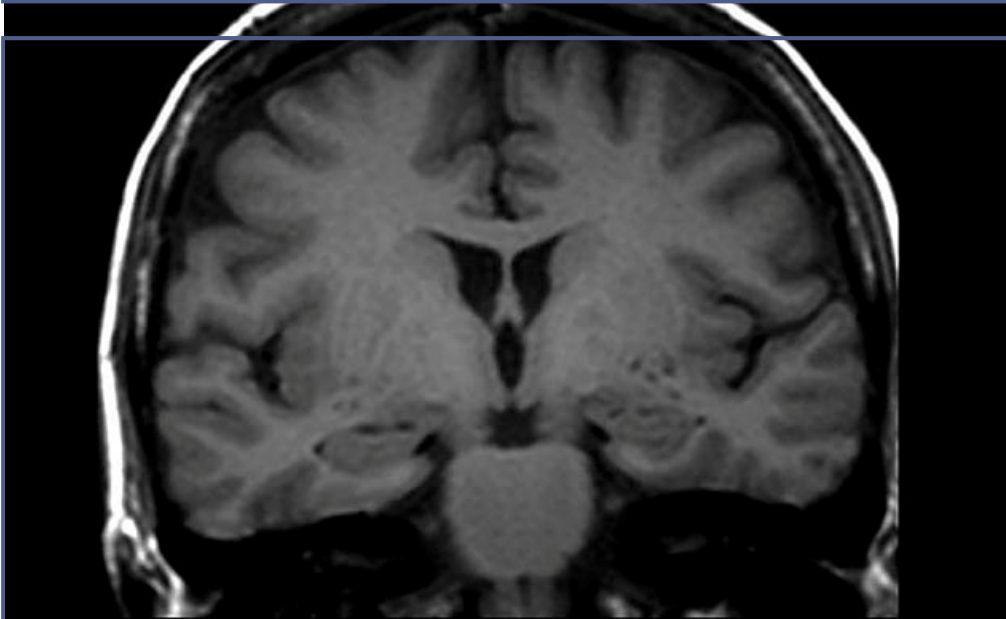


(その他の凡例)

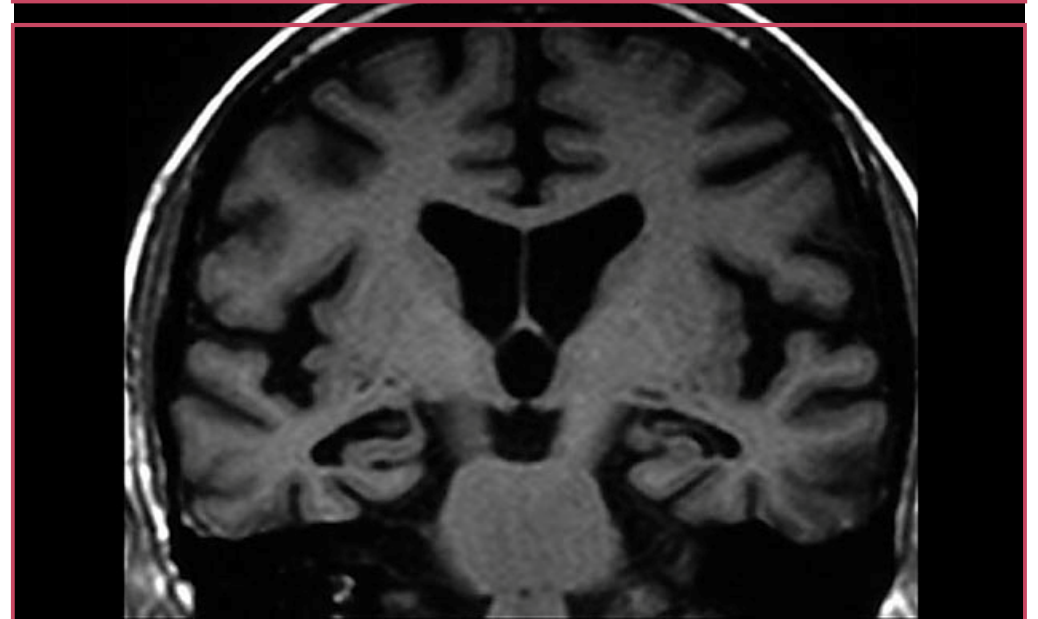
- アルコール性
- 混合型
- その他

神経細胞が障害を受け減少するため脳の萎縮がおこります。

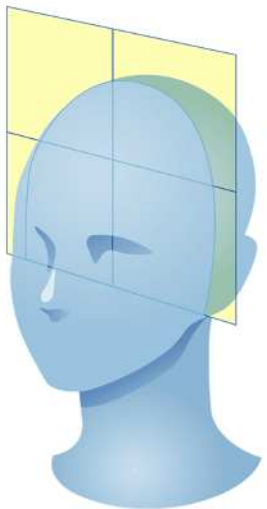
健常者



アルツハイマー型認知症



提供: 東京医科大学 羽生春夫



記憶と関係が深い^{かいば}海馬とその周辺の萎縮が
早期からみられます。



❀ 中核症状：記憶障害

即時記憶 - 60秒まで



近時記憶 - 数分後まで覚えている



遠隔記憶 - 昔のこと



記憶の種類を時間でわけた場合 アルツハイマー病では、
おもに近時記憶が失われやすくなります。

Yutaka Kurokawa

香川大学 中村 祐先生ご提供
監修: 首都大学東京 繁田 雅弘

✿ 中核症状：失認、失行

近所で道に迷う（失認）

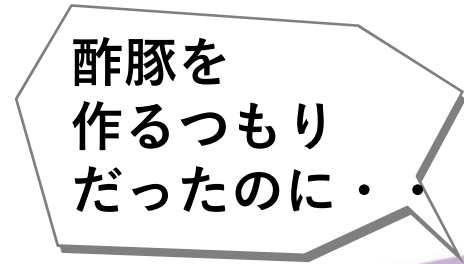
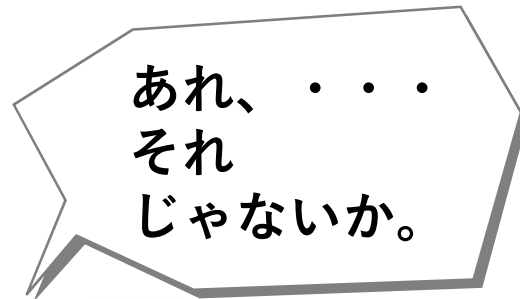
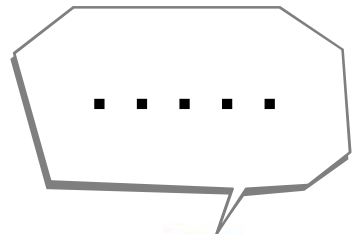
物の使い方がわからない（失行）



中核症状：失語、実行機能障害

言葉がでない（失語）

目的にあった買物ができない（実行機能障害）



❁ 周辺症状：嗜好^{しこう}の変化、妄想^{もうそう}、自発性低下

好みがかわった（嗜好の変化）



物事への関心が薄くなる
（自発性低下）



「物を盗られた」という（妄想）



早期発見が大切

- 治る認知症もあるので、早期発見が大切です。
- 早期発見には、まず本人や家族が気付くことが大事です。
- 早目に、かかりつけ医か専門医を受診しましょう。
- 早期診断によって、将来の生活、治療、財産管理などについて、自己決定できます。
- 早期発見により、本人および家族などの介護者のQOL（生活の質）を長く維持できます。
- 発見が遅れるほど、治療も介護（ケア）も困難に！

ご清聴有難うございました。

